

# マイナトラブルの解決に向け情報開示を



④厚労省に要請する保団連役員ら。⑤厚労省の安中課長(右から2人目)ら

要請には厚労省の安中健保局長高野浩一、医療課長を以て、医療介護連携政策課、保険課、国保課から出席。竹田副会長からマイナトラブル調査第2弾の調査結果を報告するとともに、厚労省にトラブルの解決に向け①窓口負担割合の相違問題も含めたマイナトラブルについて、市町村国保、後期高齢者医療広域連合に対する調査内容を速やかに公表すること、②トラブルの全容解明・原因究明に向けて関係者と連携・協力を図るとともに、厚労省が把握したトラブル原因等の情報に関係者へ速やかに公表すること、③最大のトラブル防止策として健康保険証を残し、患者・国民に健康保険証の持参を広く呼び

## 「国調査を基に改善目指す」

### 厚労省・安中高齢者医療課長

保団連は全国的な広がりを見せるマイナトラブルの解決を求め9月13日に厚労省要請を実施した。保団連から住江憲男会長、竹田副会長をはじめ、武田浩一、山崎利彦、井上美佐各理事が参加し、医療現場におけるトラブルの実態を告発、解決を求めた。

要請には厚労省の安中健保局長高野浩一、医療課長を以て、医療介護連携政策課、保険課、国保課から出席。竹田副会長からマイナトラブル調査第2弾の調査結果を報告するとともに、厚労省にトラブルの解決に向け①窓口負担割合の相違問題も含めたマイナトラブルについて、市町村国保、後期高齢者医療広域連合に対する調査内容を速やかに公表すること、②トラブルの全容解明・原因究明に向けて関係者と連携・協力を図るとともに、厚労省が把握したトラブル原因等の情報に関係者へ速やかに公表すること、③最大のトラブル防止策として健康保険証を残し、患者・国民に健康保険証の持参を広く呼び

#### 記者発表

## 全国的な広がりが鮮明に 第2弾会員調査を最終報告



記者発表に臨む竹田副会長

### 報道各社が注目

#### 7070医療機関から回答

保団連は9月13日国会で、「マイナトラブル調査第2弾」(7月14日～8月31日)の最終集計をもとに記者会見を開催した。会見には報道各社から14社21人が参加し、活発な質疑が行われた。

負担割合の誤表示等トラブル調査では、回答施設の13・8%に当たる978医療機関(39都道府県374市区町村)がエラーを経験しており、問題が全国的な広がりをみせていることが鮮明となった(図1)。今回、これまで負担割合相違の問題に加え▽カードリーダーの「高額療養費制度を利

用する」を押しさないと負担割合が反映されず、一律3割負担となってしまうケース▽マイナ保険証によるオンライン資格確認で得られた負担割合に基づき請求し、後で返戻されるケースなどが全国で55医療機関も寄せられている点を取り上げた。カードリーダー操作により3割表示となる問題では、患者が情報漏えいの不安を覚え、高額療養費の情報は「提供しない」ボタンを押すケースが多数報告されている。千葉県のケースでは、医療機関では正しい負担割合が表示されないエラーの改善を申し込んでいるが、

報告を行った竹田副会長は、岸田首相が指示している1億6千万件の総点検とは全く違つた

「報告したトラブルは氷山の一角にすぎない。ますます混乱を深め、解決できないトラブルがどんどんわき上がっている。これは医療保険制度の根幹に関わる深刻な問題だ」と指摘、「健康保険証を残すことが唯一の解決策。87・8%の医療機関が2024年秋以降も健康保険証の存続を求めている(図2)。患者の健康を守る立場からこれからも継続して問題解決を求めていく」と決意を表明し、報道各社にこの間報道いただいている点に感謝を述べるとともに、引き続き理解と協力を求めた。

「報告したトラブルは氷山の一角にすぎない。ますます混乱を深め、解決できないトラブルがどんどんわき上がっている。これは医療保険制度の根幹に関わる深刻な問題だ」と指摘、「健康保険証を残すことが唯一の解決策。87・8%の医療機関が2024年秋以降も健康保険証の存続を求めている(図2)。患者の健康を守る立場からこれからも継続して問題解決を求めていく」と決意を表明し、報道各社にこの間報道いただいている点に感謝を述べるとともに、引き続き理解と協力を求めた。

(S・K・Y)

を解決したいという思いは我々も同じ」と述べる。国調査結果については「何らかの形で示すことを考えたい」、「医療機関も患者も、保険者の方も、皆さん困っていると認識している。そこは解決に向けて、特効薬はないかもしれないが少しずつ対応するとともに、一つ一つ課題を見つけて改善していきたい」と回答した。

図1 保険証券面「負担割合」の相違の有無

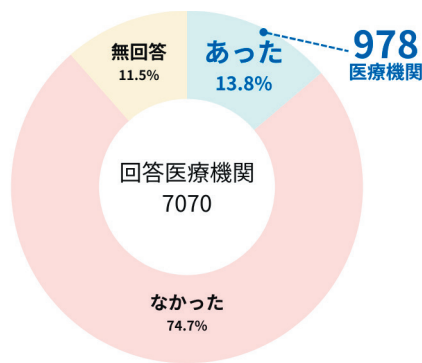
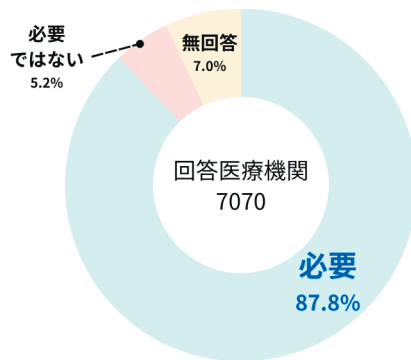


図2 健康保険証を残す必要があるか



#### オン資使って 返戻も

また返戻については、昨年開始された審査支払機能の振替機能により減少していたが、オンライン資格確認の開始に伴う「新たな返戻問題」として浮かび上がってきた。レセプト返戻まで起きている。何が正しいのか? オンラインのデータが違っているの返戻は大変困ります。現場は無視したやり方に困惑する」など不安や怒りの声が寄せられている。

#### 保険証は 存続しかない

報告を行った竹田副会長は、岸田首相が指示している1億6千万件の総点検とは全く違つた

# 全国保険医新聞

9月25日

2023年

発行所 全国保険医団体連合会  
東京都渋谷区  
代々木2-5-5  
151-0053  
新宿農協会館内  
03(3375)5121  
03(3375)1885  
発行人/住江 憲男  
振替口座 00160-0-140346  
購読料 年共1ヵ月750円  
(会員の購読料は、会費に含まれています)

#### 主な記事

診療報酬 2

2024年改定に向けた保団連要求  
外来・歯科・入院の診療報酬改善要求を解説する。

研究・学術交流会 3

新型コロナのこれまでもこれから  
仙台医療センター  
西村 秀一 氏

5 認知症とともに③  
「もの忘れ外来」の20年と文化・趣味活動の重要性

5 最南端のハンセン病施設  
シマチャビ-離島苦-⑦

7 母(6)  
三十一文字のカルテ⑬

7 「爆発的な噴火」重要証言  
今日の公害問題256

8 金バラ価格改定  
告示価格3095円に引き上げ

記事検索で情報をキャッチ



https://hodanren.doc-net.or.jp/

## 羅針盤

8月末、NHKテレビのあさイチでマイン保険証問題の特集し、冒頭に保団連の竹田副会長による記者会見の様子が写った。後は女性アナウンサーによる受診体験とクリニック所長のインタビューが続くのだが期待したほどではなかった▼専門家と称するコメントで政府に弁護的であり、登録ミラも「自分で確認して」と述べていたが、全く無責任な発言だ。カード未取得者への資格確認書発行の案内も無い。いずれは政府の思い通りになると言いたげで、さすが天下のNHKだと思つた▼底なしのトラブルにもかかわらず、岸田首相は8月4日の記者会見で、改めて保険証の廃止を言明した。財界代表はこれを「納期」という強い言葉で政府に保険証廃止の時期を守るよう迫っている。保険証の廃止にこだわるのはマイナンバーカードの普及率を限りなく100%に近づけたいからだ▼普及率を高めたいことにはカードを活用したサービスも普及せず、デジタル分野での利潤を追求したい企業にとつてもうまみが欠ける。デジタル化の行方はともかく命に関わる保険証だけは残せと運動を進めたい。